

ペグ15(平和教育授業研究会)2014.3.22

テーマ

沖縄について教えよう  
—平和的なコミュニケーション—





US MARINE CORPS FACILITY

米 国 海 兵 隊 施 設

UNAUTHORIZED ENTRY PROHIBITED  
AND PUNISHABLE BY JAPANESE LAW

無断で立入ることはできません  
違反者は日本の法律に依って罰せられる









### 糸数アブチラガマ

このガマは、全長が約270メートルに及ぶ自然洞穴で、昭和19年7月頃から日本軍の陣地としての整備が始まった。20年3月23日南部が艦砲射撃を受け、翌24日から、糸数の住民約200名がこのガマに避難した。その当時は、日本軍の陣地・糧秣倉庫及び糸数住民の避難壕として使用されていた。

地上戦が激しくなり南部への危険が迫ってきた4月下旬頃、南風原陸軍病院の分室として糸数アブチラガマが設定され、5月1日から約600名の患者が担送されてきた。このガマも危険になってきた5月下旬の撤退まで陸軍病院として使用された。病院の撤退後は、重症患者が置き去りにされ、米軍からの攻撃もたびたび受け悲慘を極めた地獄絵が展開された。しかし、このガマのおかげで生き延びた人達がいることも忘れてはならない事実である。

このガマで亡くなられた方々の遺骨は戦後、糸数住民と関係者等によって蒐集され、「魂魂塔」に合祀された。



30m

いとかず

糸数アブチラガマ



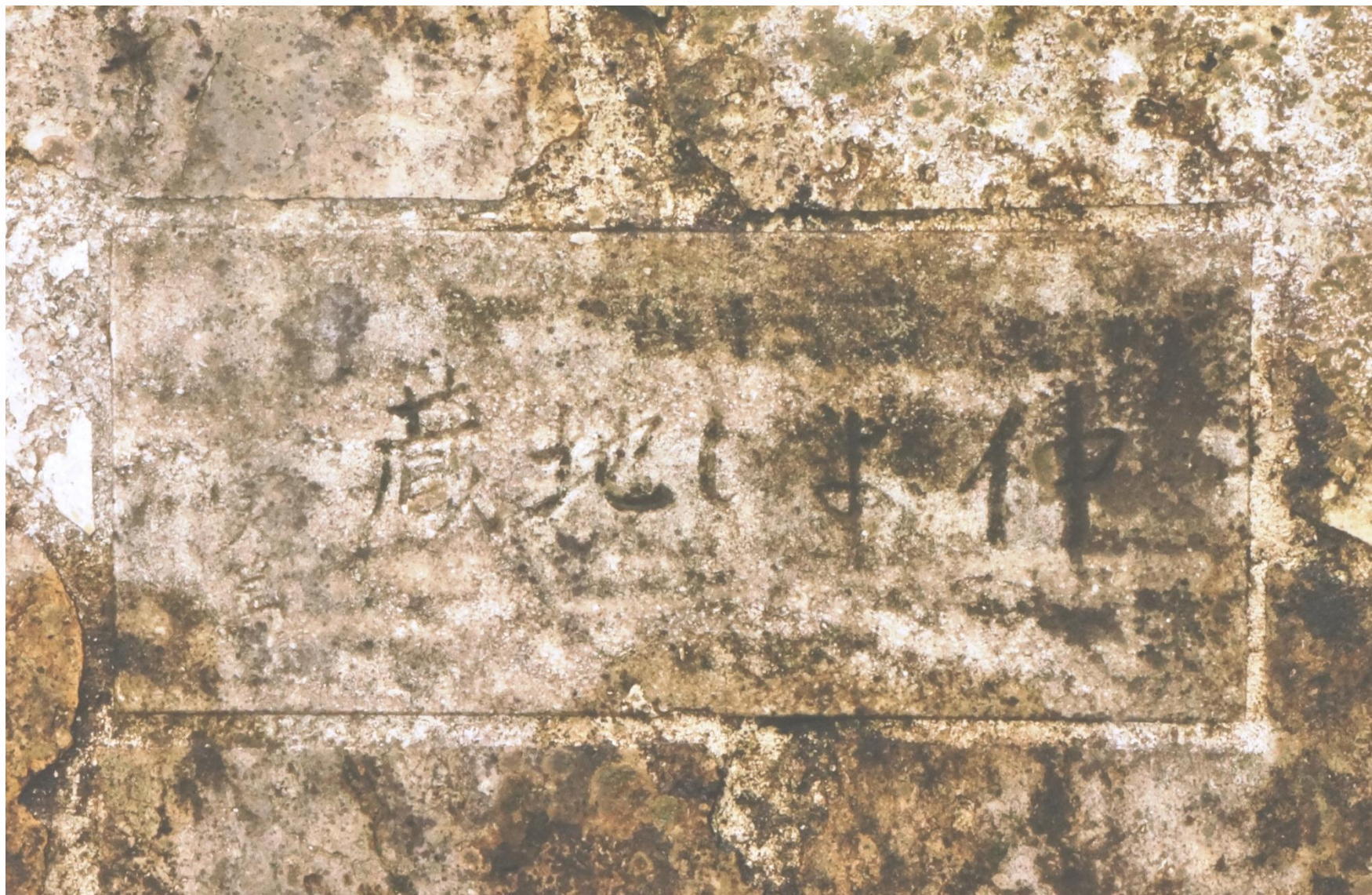
Itokazu Abuchiragama Cave



石川一丁目

46-1

うるま市立  
宮森小学校



ジエツト機事故犠牲者児童名

六年

伊波正行

ク

久高明美

ク

照屋菊江

三年

上間芳武

二年

久高德子

ク

亀島郁子

ク

喜屋武玲子

ク

喜友名啓二

ク

上江洲洋子

ク

喜納常次

四年

松田梅治

平成十一年六月三十日刻銘









那覇安敬  
 村田秀幹  
 高袋恒仁  
 松田清次郎  
 石川元友  
 謝花ハツ  
 村田保徳  
 仲村定相  
 諸喜田儀信  
 仲村源吉  
 長浜森順  
 興那嶺寛一  
 大城ウシ  
 仲村嘉雄  
 仲村末子  
 大城力蔵  
 馬袋長栄  
 大城雄善  
 興那嶺俊雄  
 金城勘知  
 仲村源三郎  
 藤本芳朝  
 仲村源明  
 馬袋長善  
 村田地一  
 村田徳康  
 比嘉登榮  
 湧川政徳  
 比嘉雄吉

松田清長  
 松田ウタ  
 宮城松園  
 中里芳子  
 岸本恵一  
 喜屋武忠二郎  
 金城春吉  
 金城春秀  
 金城新治  
 金城ヨシ子  
 金城トク  
 長濱徹二  
 宮里カマダ  
 仲間勝正  
 宮里在正  
 宮里トク  
 宮里秀琳  
 宮里安子  
 宮里米子  
 金城ナベ  
 謝花喜福  
 謝花置子  
 大城仁昌  
 長濱英順  
 長濱了吉  
 長濱正武  
 長濱盛幸  
 長濱盛之助

長浜盛珍  
 真栄田義春  
 真栄田義仁  
 上地徳重  
 眞栄田義通  
 眞栄田義治  
 眞栄田義松  
 上地完助  
 上地サヨ子  
 大城信幸  
 宮里米徳  
 上地完満  
 眞栄田義一  
 長濱盛行  
 眞栄城松元  
 伊是名代子  
 眞志喜トシ  
 新城嘉眞  
 座間味芳江  
 座間味敏子  
 島袋博文  
 眞里友一  
 照屋和子  
 座間味栄重  
 眞那嶺新助

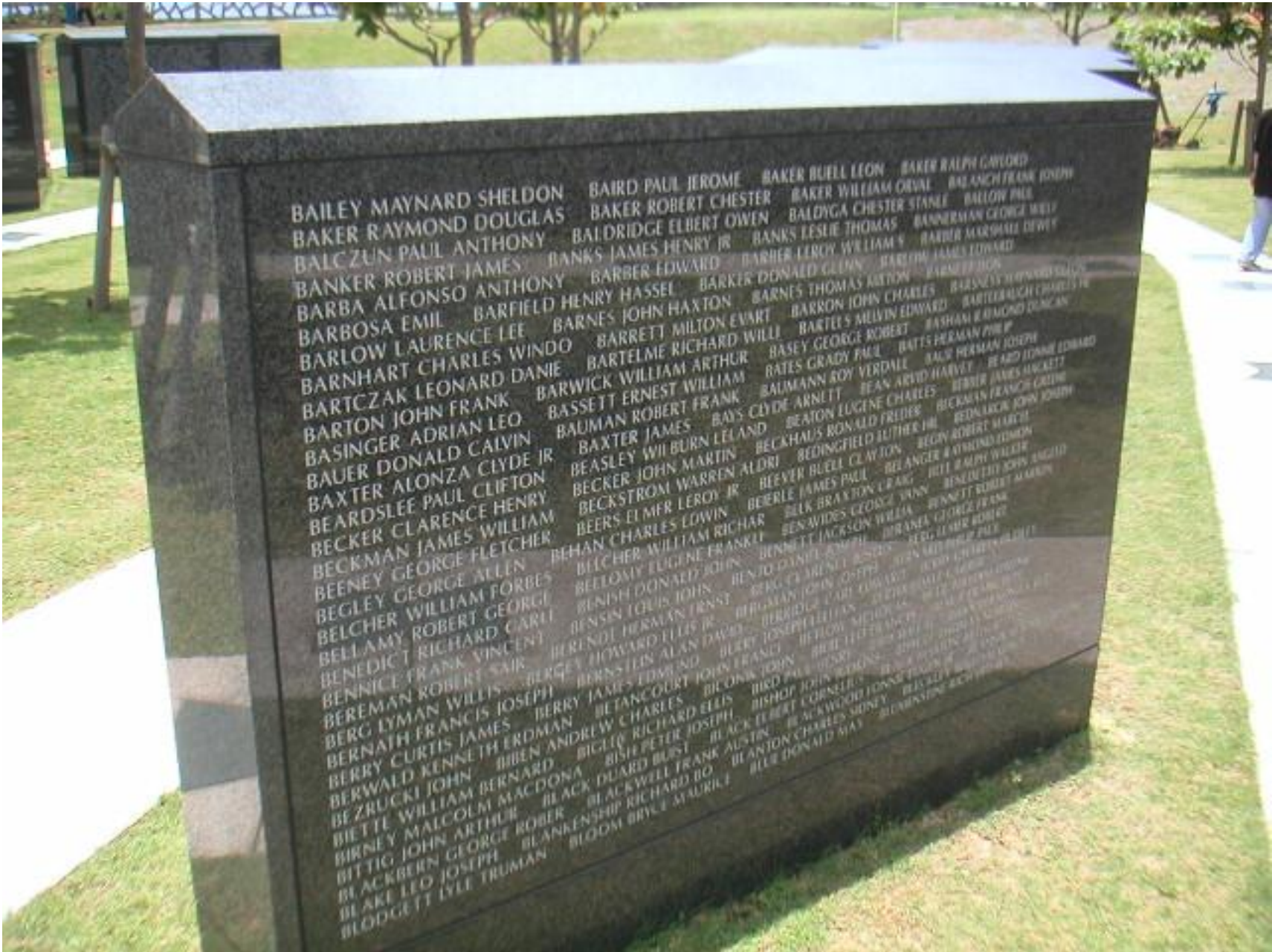
宮城徳仁  
 宮城ウシ  
 仲原蒲吉  
 仲原蒲一  
 島袋長吉  
 宮城徳繁  
 前田武一  
 前田讀一  
 座間味ウト  
 座間味栄善  
 座間味榮徳  
 當山信子  
 玉城カメ  
 玉城重恒  
 兼次常松  
 兼次ナベ  
 兼次浜子  
 小那覇ツル  
 小那覇安信  
 小那覇安儀  
 小那覇安平  
 小那覇安室  
 上地完松  
 謝花喜満

謝花喜睦  
 謝花澄子  
 謝花喜英  
 富平乗福  
 謝花喜木  
 比嘉徳藏  
 比嘉廣昌  
 謝花喜次  
 謝花喜蔵  
 小那覇安豊  
 小那覇安績  
 小那覇安聖  
 照屋林三  
 照屋全正  
 運天朝儀  
 運天カマド  
 平安山良徳  
 小那覇安吉  
 小那覇安福  
 小那覇安定  
 小那覇京子  
 渡久地政信  
 渡久地カミ一  
 渡久地政福  
 渡久地ヨシ  
 渡久地政雄  
 渡久地八重子

照屋ツル  
 照屋全洋  
 照屋全次  
 平安山良元  
 照屋初江  
 照屋全保  
 照屋全計  
 照屋アキラ  
 仲村源易  
 比嘉松吉

字 運天

大城正晴  
 大城正守  
 兼次清次  
 上間安太郎  
 上間 實  
 松田長春  
 松田長次郎  
 上間亀三  
 村田保純  
 上間信義  
 上間貞助  
 上間ナベ  
 上間貞松  
 上間義正



BAILEY MAYNARD SHELDON BAIRD PAUL JEROME BAKER RUFEL LEON BAKER RALPH GAYLORD  
BAKER RAYMOND DOUGLAS BAKER ROBERT CHESTER BAKER WILLIAM ORVAL BALACH FRANK JOSEPH  
BALCZUN PAUL ANTHONY BALDRIDGE ELBERT OWEN BALDYGA CHESTER STANLEY BALLOW PAUL  
BANKER ROBERT JAMES BANKS JAMES HENRY JR BANKS LESLIE THOMAS BANNERMAN GEORGE WELLY  
BARBA ALFONSO ANTHONY BARBER EDWARD BARBER LEROY WILLIAM Y BARBER MARSHALL DEWEY  
BARBOSA EMIL BARFIELD HENRY HASSEL BARKER DONALD CLYNN BARLOW JAMES EDWARD  
BARLOW LAURENCE LEE BARNES JOHN HAXTON BARNES THOMAS MITCHELL BARNES WYWARD SULLIVAN  
BARNHART CHARLES WINDO BARRETT MILTON EVART BARRON JOHN CHARLES BARTERLACH CHARLES JR  
BARTCZAK LEONARD DANIE BARTELME RICHARD WILLI BARTER S MELVIN EDWARD BARTERLACH CHARLES JR  
BARTON JOHN FRANK BARWICK WILLIAM ARTHUR BASEY GEORGE ROBERT BASHAM ARMOND DUNCAN  
BASINGER ADRIAN LEO BASSETT ERNEST WILLIAM BAUMANN ROY VERDALL BATES HERMAN JOSEPH  
BAUER DONALD CALVIN BAXTER JAMES BAYS CLYDE ARNETT BEAN ARVID HARVEY BEARD JONAH EDWARD  
BEARDSLEE PAUL CLIFTON BECKHAMUS DONALD FREDER BECKINGFIELD LUTHER HIL BECKER JAMES HACKETT  
BECKER ALONZA CLYDE JR BECKSTROM WARREN ALDRI BECKMAN FRANCIS CRISTE BECKMAN JOHN JOSEPH  
BECKER CLARENCE HENRY BEERS ELMER LEROY JR BEERLE JAMES PAUL BELANGER RAYMOND EDMOND  
BECKMAN JAMES WILLIAM BEHAN CHARLES EDWIN BEERLE JAMES PAUL BELANGER RAYMOND EDMOND  
BEENEY GEORGE FLETCHER BELCHER WILLIAM RICHARD BENAVIDES GEORGE WILSON BENNETT ROBERT MARION  
BEGLEY GEORGE ALLEN BELLOMY EUGENE FRANKLIN BENNETT JACKSON WILSON BERGLAND ROBERT  
BEREMAN ROBERT SAIR BERGES HOWARD ELLIS JR BERG JAMES EDWARD BERG JAMES EDWARD  
BERG LYMAN WILLIS BERNATH FRANCIS JOSEPH BERTANCOURT JOHN FRANCIS BIRD PAUL JESSIE  
BERNARD ANDREW ERDMAN BERRY JAMES EDWARD BERRIDGE LARI EDWARD BIRD JOHN ROBERT  
BERRY CURTIS JAMES BIRNEY KENNETH ERDMAN BISHOP JOHN ROBERT BISHOP JOHN ROBERT  
BERWALD WILLIAM FORBES BIRNLEY WILLIAM BIRNLEY WILLIAM BISHOP JOHN ROBERT BISHOP JOHN ROBERT  
BEZRUCKI JOHN BIRNLEY WILLIAM BIRNLEY WILLIAM BISHOP JOHN ROBERT BISHOP JOHN ROBERT  
BIETTE WILLIAM BIRNLEY WILLIAM BIRNLEY WILLIAM BISHOP JOHN ROBERT BISHOP JOHN ROBERT  
BIRNEY JOHN ARTHUR BLACK DIARD BURST BISHOP JOHN ROBERT BISHOP JOHN ROBERT  
BLACKBURN GEORGE ROBER BLACKWELL FRANK AUSTIN BISHOP JOHN ROBERT BISHOP JOHN ROBERT  
BLAKE LEO JOSEPH BLANKENSHIP RICHARD BO BISHOP JOHN ROBERT BISHOP JOHN ROBERT  
BLODGETT LYLE TRUMAN BLOOM DYCK MAURICE BLUE DONALD MAX BISHOP JOHN ROBERT



UNITED STATES OF AMERICA  
(M~R)

UNITED STATES OF AMERICA  
(R~V)

UNITED STATES OF AMERICA  
(V~Z)

UNITED KINGDOM OF GREAT  
BRITAIN AND NORTHERN IRELAND



대한민국 (大韓民國)  
조선민주주의인민공화국  
(朝鮮民主主義人民共和國)  
台灣

# 沖縄の平和教育の展開

- 1945 敗戦後、GHQより四大教育改革指令が出される(軍国主義・皇国主義教育の終了)
- 1961 沖縄戦終結の6月23日が沖縄で公休日となる
- 1975.6 沖縄県立平和祈念資料館の開館
- 1982 教科書問題(沖縄戦についての記述の減少)
- 1986.6 那覇市「核兵器廃絶平和都市宣言」
- 1989 ひめゆり平和祈念資料館の開設
- 1993 沖縄県教育委員会『平和教育指導の手引き』発行
- 1994 沖縄県教育委員会「平和教育関連施設マップ」発行
- 1995.6 「平和の礎」の開設
- 1995.6 沖縄県「非核・平和沖縄県宣言」
- 1999 沖縄県平和祈念資料館の展示問題
- 2000.4 沖縄県平和祈念資料館の移設・新築
- 2002 沖縄県による沖縄平和賞(隔年)の授賞開始
- 2007.9.29 「教科書検定撤回を求める県民大会」を宜野湾市で開催
- 2008 沖縄県教育委員会「高等学校における沖縄戦の指導案事例集」の発行
- 2011 教科用図書八重山採択地区協議会において公民教科書の選定が分裂

# 「平和教育」に関する取組状況調査結果

(沖縄県教育庁 平成24年8月調査実施)

## ○沖縄県下の小学校278校の中での取組

- 一定の期間、図書館や空き教室で平和資料展(250)
- 道徳で「慰霊の日」に関わって取り組む(247)
- 授業の時間に地域人材を活用して集会(195)
- 平和月間を設定している(151)
- 学年で戦跡巡り(137)
- 平和旬間を設定している(132)
- 特別活動で「慰霊の日」の取組(131)
- 総合的な学習の時間で「慰霊の日」の取組(124)
- 授業時間に、映画やビデオの視聴(107)

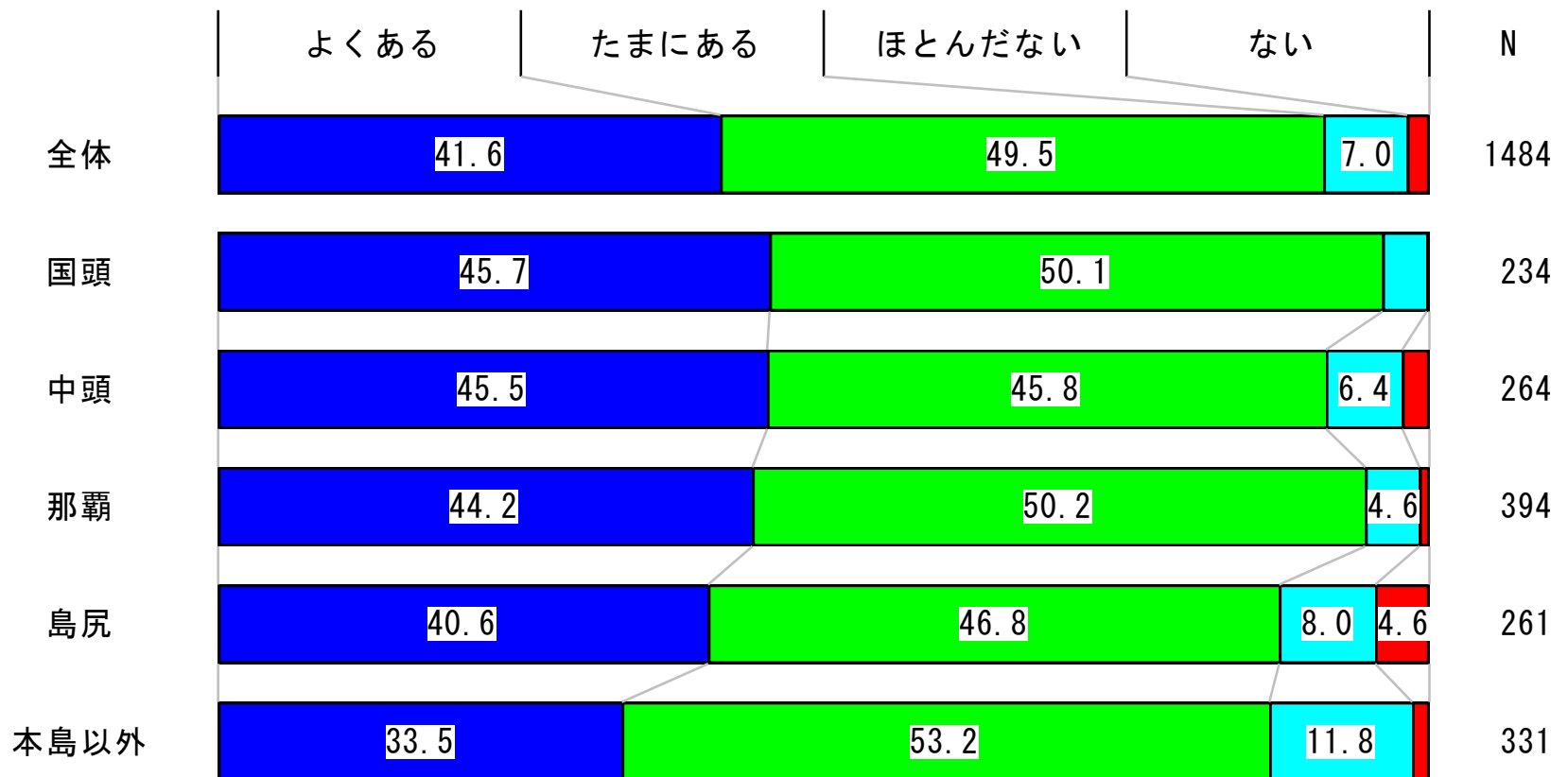
- 沖縄平和学習アーカイブ
- ～The Peace Learning Archive in OKINAWA～
- サイトURL [The Peace Learning Archive in OKINAWA | 沖縄平和学習アーカイブ](#)
- 沖縄戦体験者102人の証言記録、182点の写真ならびに地図を掲載している。

表1 沖縄中学2年生の2012年調査の有効サンプル数

調査地区	調査実施校	男子	女子	全体 (%)
国頭	4	125	109	234 (15.7)
中頭	4	134	132	266 (17.9)
那覇	3	191	204	395 (26.6)
島尻	4	139	122	261 (17.6)
本島以外	7	174	157	331 (22.2)
計	22	763	724	1487 (100%)

# 図1 中学生の沖縄戦の様子の見聞 (調査地区別分析)

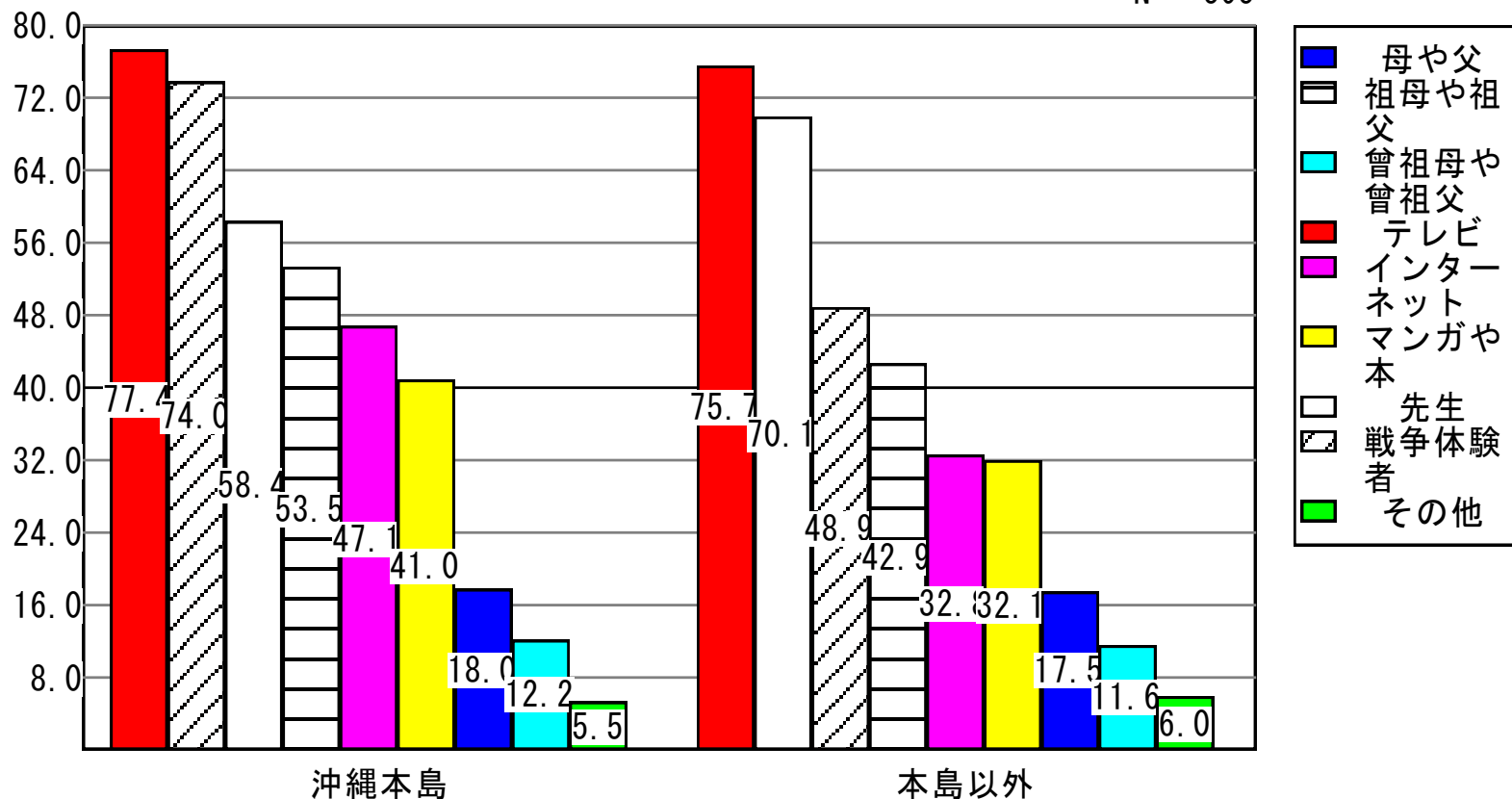
表 頭(X軸) No. 14 沖縄戦の様子を見聞したことがあるか <S A> 4カテゴリ  
表側 1 (Y軸1) No. 38 5地域 <S A> 5カテゴリ



# 図2 小学生に対する沖縄戦継承のエージェント (調査地区別分析)(複数回答)

表 頭(X軸) No.12 沖縄戦の様子を誰に聞いたか <MA> 9カテゴリ  
表側1(Y軸1) No.31 2地域 <SA> 2カテゴリ

N = 595



# 図3 沖縄で戦争があったことについてどう思うか(単数回答)

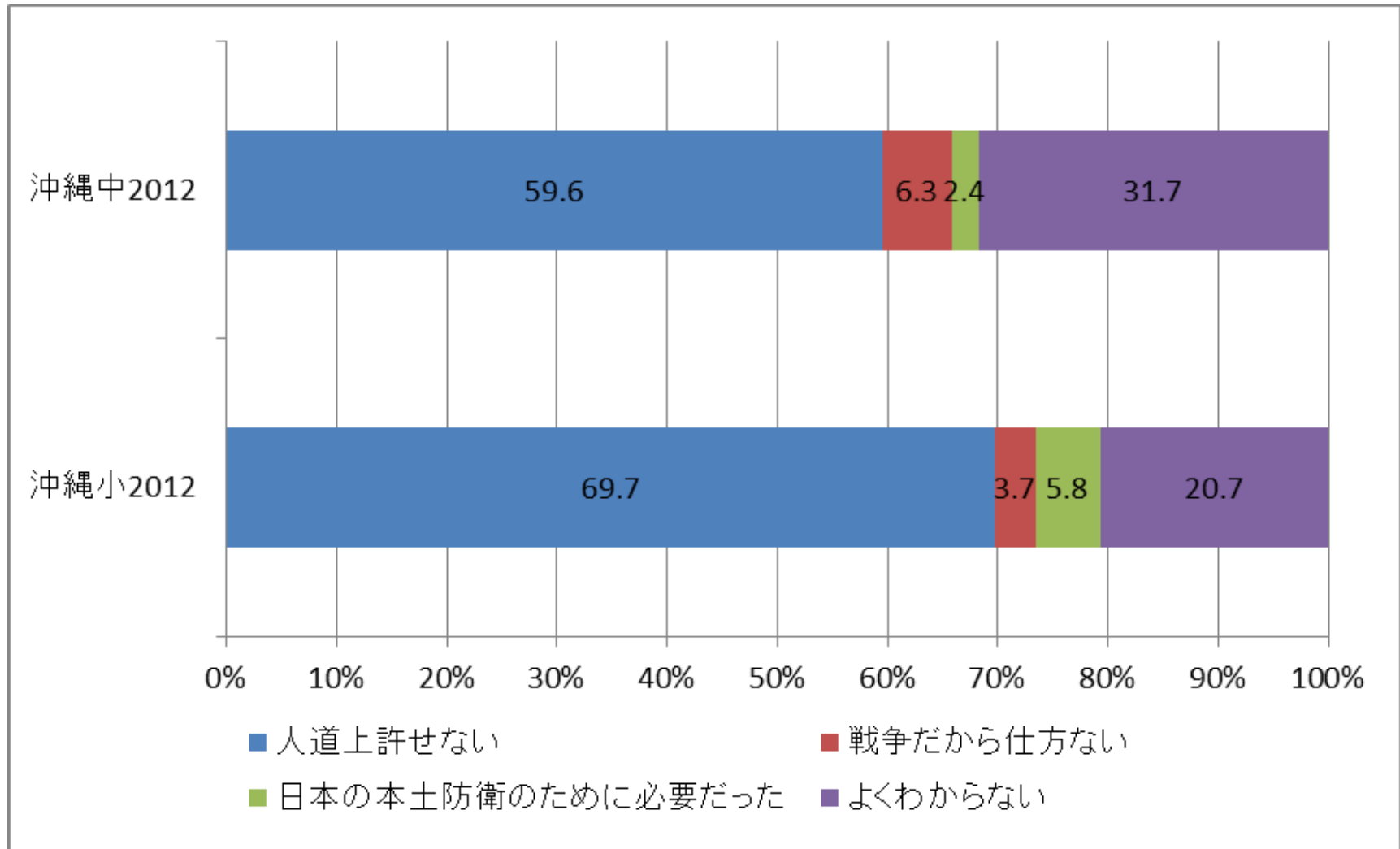
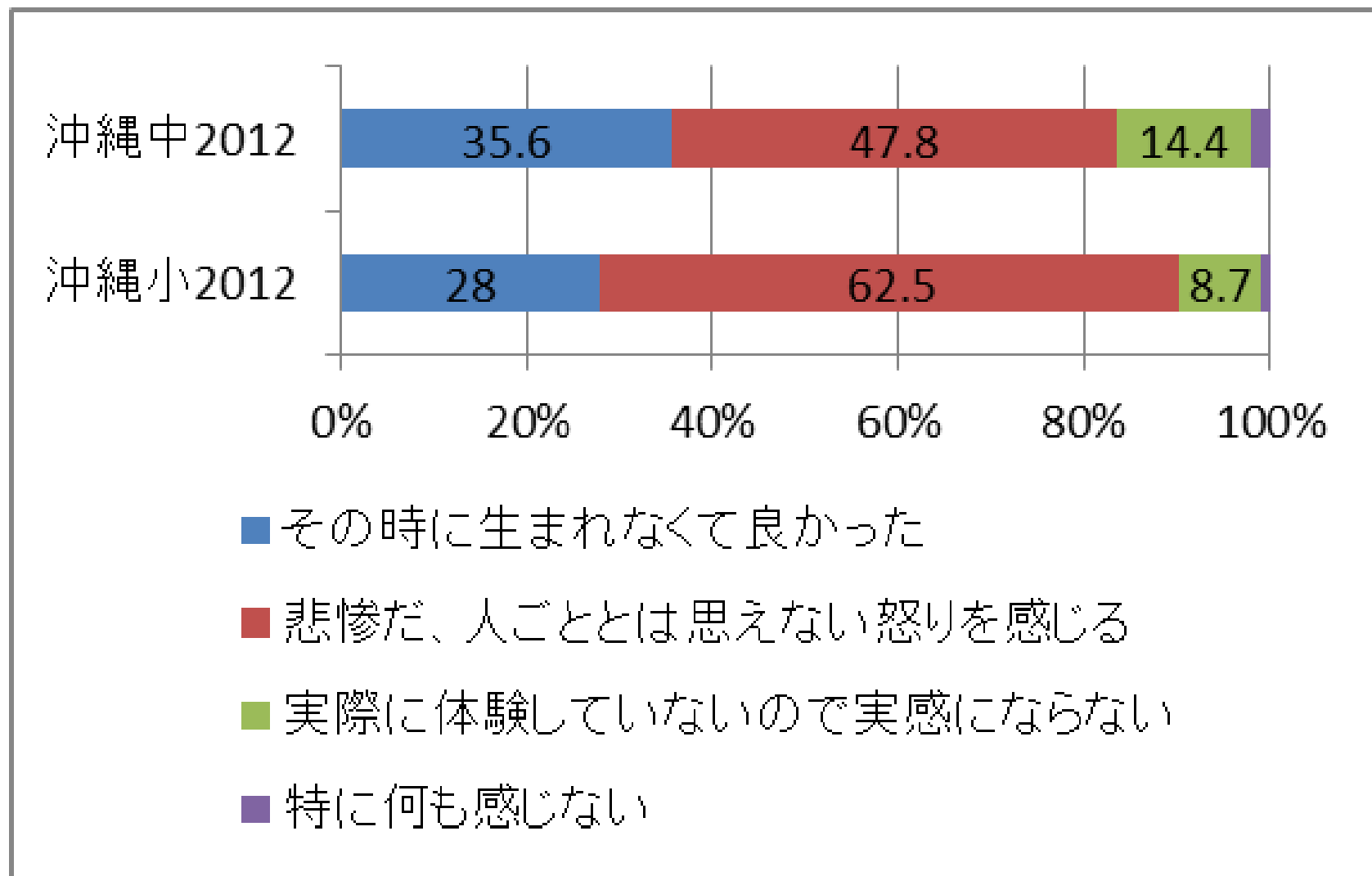
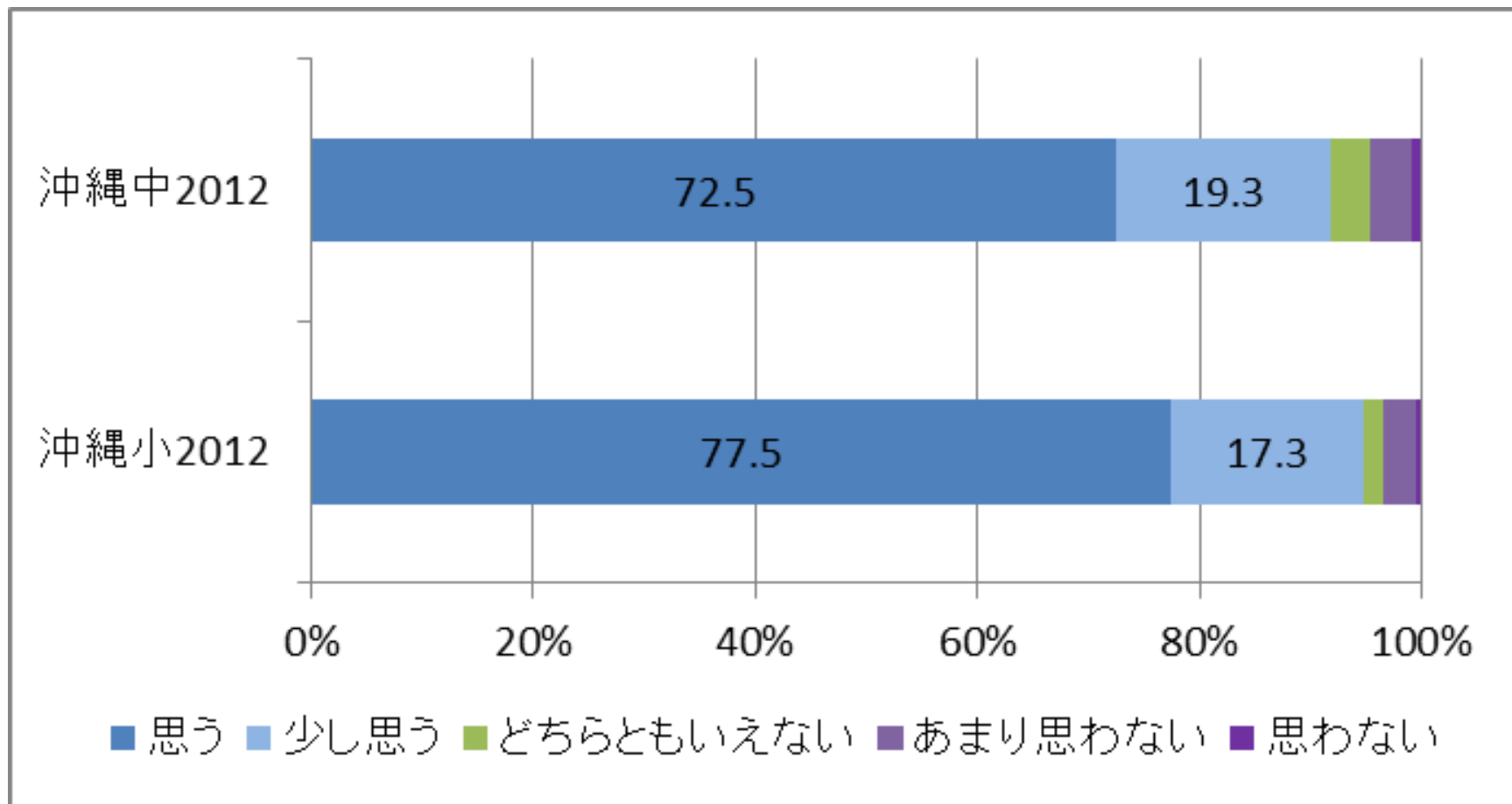


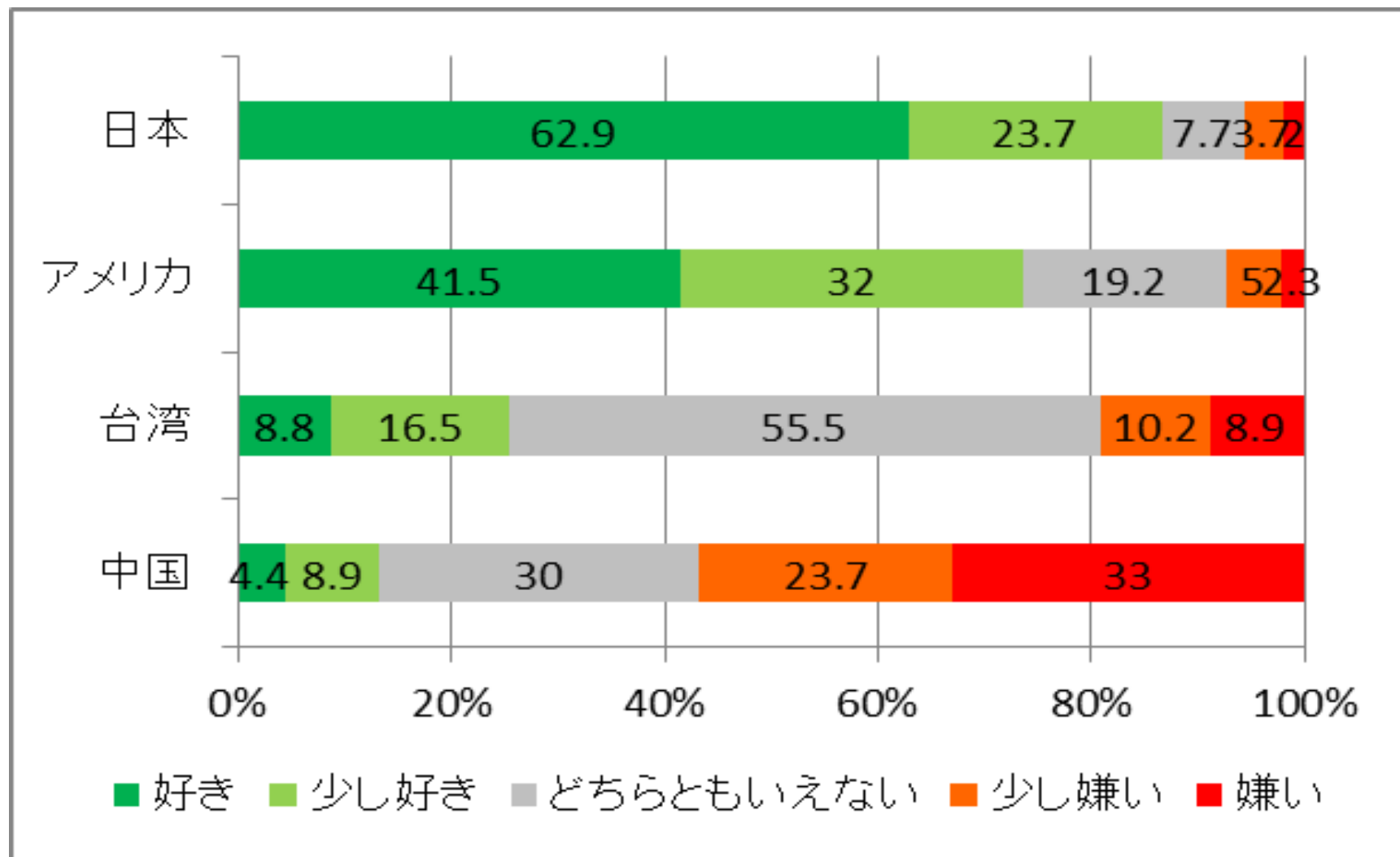
図4 沖縄戦の様子や、その時の体験者の苦し  
みについてどのように感じるか(単数回答)



# 図5 沖縄の戦争体験を全国に伝えることが大切か



# 図6 沖縄中学生の4カ国に対する好感度 (沖縄中2012調査)



# 調査のまとめ

## ○意識調査による知見

- 沖縄の中学生は「正義の戦争論」に反対する割合がさらに5ポイント高い。
- 90%以上の小学生と中学生が沖縄戦の見聞あり。沖縄本島が本島以外（八重山群島など）よりも見聞が多い。
- 見聞の方法は、テレビ・戦争体験者・先生の方が、祖父母や父母（親族）よりも割合が高い。特に本島以外では、テレビが最も多く、次に学校教師からの見聞が高い。
- 伝えられる体験内容の多くは悲惨な戦場被害体験であり、**印象に残った内容で、最も多かったのが「集団自決」**。降伏後のアメリカへ兵について中学生の評価が高い。
- 沖縄戦は「人道上許せない」と正義感を示す小学生・中学生が多い。「悲惨だ、人ごととは思えない怒りを感じる」と共感性を示す小学生・中学生もやや多い。
- 沖縄戦の体験を日本全国の人に伝える意義を、7割以上の小学生と中学生が認めている。
- 小学生と中学生の多くが平和な社会の形成に貢献したいと答えている。
- 沖縄の中学生は、日本の他都市やイギリスと比べて、平和貢献意識が強い。だが、平和の形成に努力した人・団体名を知っている中学生については、割合が低い。

## ○一般化に向けた沖縄の事例

- (1)沖縄でも、テレビによる戦争体験の見聞が最も多い。そして戦争体験者や学校教師を通しての見聞が続く。2012年には「祖父母」からの見聞が、沖縄中学生2012年調査で50%。これからは50%を切ると予測される。
- (2)1999年に沖縄県平和祈念資料館の展示問題が起こった時、マスメディアの報道と人びとの関心の高まりにより、日本兵による住民虐殺や、強制による集団自決の集合的記憶が県民の多くに定着する。それが文科省の検定意見に対する2007年の県民全体の異議申し立てに結晶化される。
- (3)沖縄戦の戦争体験の集合的記憶は、沖縄の中学生に強い反戦平和意識を形成。全国の人々に沖縄戦を伝えるべきとの認識を持つに至っている。